

## ○第七回村落社会 研究会大会について

今年度大会については、既に前号の研究通信でお知らせした通り、一〇月一九・二〇日の両日、本郷学士会館において開催される。詳しくは、プログラム・レジユメに述べられているが、予定されていた発表の一部変更があつたり申込みの報告数が期待したほどなく、会員外への依頼も、都立大学千葉正士氏の快諾をえたほかは、相前後する諸学会のため思うにまかせず、始めの構想を変えざるをえなくなつた。左に記した通り、報告の数は少いが、発表時間、討論時間を十分とることができそうなので、活発な質疑応答を期待したい。

### 一、明治前期の政治体制と村落

神谷 力

### 一、学区に関する国家政策と村落共同体の再編成

千葉 正士

### 一、小作争議と村落体制

中野 芳彦  
河村 望

### 一、部落日誌からみた村落「区」行政の考察

酒井 俊二  
山下 袈裟男  
大津 昭一郎

### 一、地方自治の拡大と部落機能

中村 正夫